

実務経歴証明書

(維持・運用 記載例)

氏名 (ふりがな)	(戸籍のとおり記載してください。)	生年月日	年 月 日生 (元号は略称記号を用いないこと)
本籍	(戸籍のとおり記載してください。)		
現住所	郵便番号、住居表示(何番何号何々方、会社社宅何号棟何号室まで明記)を記載 してください。 (T E L)		
勤務先及び 役職名	現在の勤務先の名称、役職名、住所を記入してください。但し、既に退職した事業 所から証明を受ける場合には、記入する必要はありません。 (T E L 内線まで記載)		

略 歴

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電 気 工 作 物 の 概 要
自	至	年数			
年月 平成 14年 4月 1日	年月 平成 20年 3月 31日	年月 6. 0	<p>私は平成 年 月 日付第 号をもって 第3種電気主任技術者免状を取得した。</p> <p>株式会社 工場 部 課 係員</p> <p>平成14年4月1日 組織変更により 株式会社 工場 部 課 係員</p>	<p>1. 概要 ((1)は自社業務、(2)は受託業務) (1)私は、株式会社 工場 部 課 係員として、電 気主任技術者 の下で保 安規程及び社内点検基準に基 づき、監視室及び変電所(監視室 から m)において右記電気 工作物の運転、監視及び点検業 務に従事した。</p> <p>(2)私は、株式会社 工場 部 課 係員であるが、 株式会社と株式会社の 委託契約に基づき株式 会社 センターに 員とし て派遣され、電気主任技術者 の下で保安規程及び社内 点検基準に基づき、監視室及び 変電所(監視室から m)にお いて右記電気工作物の運転、監 視及び点検業務に従事した。</p>	<p>1. 工場所在地 県 市</p> <p>2. 工場名 株式会社 工場</p> <p>3. 受電電圧 k V</p> <p>4. 契約電力 年 月 k W 年 月 k W</p> <p>5. 設備概要 ・受電用変圧器 相 k V / k V k V A 台</p>

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電 気 工 作 物 の 概 要
自	至	年 数			
				<p>2 . 勤 務 体 制</p> <p>(1) 課は総勢 名で、係員の 名が4直3交代(1直0時~8 時、2直8時~16時、3直16時 時~24時)勤務で、課長(兼電 気主任技術者)及び係長の 名 が日勤(8時~17時)となっ ている。</p> <p>(2)このうち私は交代勤務者として 以下の業務に従事した。</p> <p>3 . 日 常 業 務</p> <p>(1)運転操作業務 私は、毎直(週3~4日程度) 力率を一定に保つためコンデン サーの入切操作を遠隔制御盤で 行った。</p> <p>(2)監視業務 私は、毎直(週3~4日程度) 1時間毎に(又は 時及び 時 の 回等)監視室において、電 圧計・電流計等の計器により、 受電電圧・電流・力率等を監視 し、全般的な運転状況の監視、 電力量等の把握業務を行い、そ の結果を運転日誌に記入した。 なお、運転日誌は 直者が 時 に係長に提出した。 また、監視時に異常を発見した 時は、直ちに課長(兼電気主任 技術者)に報告した。</p> <p>(3)巡視点検業務 私は、毎直(週3~4日程度) 勤務の最初に一人で視・聴・臭 覚により変電所の機器の異常の 有無を調べるため外観点検を行 い、その結果を点検日誌に記入 した。 なお、点検日誌は 直者が 時 に係長に提出した。 また、点検時に異常を発見した 時は、直ちに課長(兼電気主任 技術者)に報告した。 主な機器と点検項目は別紙 の とおり。</p>	<p>・受電用遮断器 遮断器 k V k A 台</p> <p>・変圧器 相 k V / k V k V A 台</p> <p>・コンデンサ k V k V A 台</p> <p>・断路器 k V k A 台</p> <p>・計器用変圧器 k V / V 台</p> <p>・計器用変流器 k V A / A 台</p> <p>・避雷器 k V k A 台</p> <p>(注) 3種申請者は500V以上 2種申請者は1万V以上 1種申請者は5万V以上 の電気工作物を記載する こと。</p>

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電 気 工 作 物 の 概 要
自	至	年 数			
				<p>私は毎月 日頃、同僚と2名で変電所の機器の異常の有無を調べるため月例点検を行い、その結果を月例点検記録簿に記入し係長に提出した。</p> <p>また、点検時に異常を発見した時は、直ちに課長（兼電気主任技術者）に報告した。</p> <p>主な機器と点検項目は別紙 のとおり。</p> <p>4 . 定期業務</p> <p>(1)年次点検</p> <p>毎年 月頃、私を含む 課全員と外注業者（××計測㈱）と共同で、工場を全停電し、変電所の機器の異常の有無を調べるため精密な点検を行うが、私はその時、停電操作及び停電確認の作業を行った。</p> <p>また、私は外注業者の作業を監督・立ち会いし、点検結果を年次点検記録簿に記入した。</p> <p>なお、点検の結果異常があったものについては、私はその内容を課長（兼電気主任技術者）に報告し、修繕等の計画を立案した。</p> <p>主な機器と点検項目は別紙 のとおり。</p> <p>(2)測定・試験業務</p> <p>測定・試験業務は定期点検時に外注業者（××計測㈱）に委託しているが、私はその業務を監督する立場で測定・試験に立ち会い、その結果を過去のデータと照合するとともに記録表に記入し課長（兼電気主任技術者）に報告した。</p> <p>主な測定・試験項目は別紙 のとおり。</p>	

期 間			役 職 名	職 務 の 内 容	電 気 工 作 物 の 概 要
自	至	年 数			
				<p>5 . 不 定 期 業 務</p> <p>(1) 改 良 工 事</p> <p>(年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>油 遮 断 器 取 替 工 事)</p> <p>月 の 定 期 点 検 時 に 油 遮 断 器 の</p> <p>1 台 に 油 タ ン ク の 異 常 が 発 見 さ</p> <p>れ 、 取 替 が 必 要 と な っ た 。</p> <p>こ の 時 私 は そ の 内 容 を 課 長 (兼</p> <p>電 気 主 任 技 術 者) に 報 告 し 取 替</p> <p>計 画 を 立 案 し た 。 ま た 工 事 期 間</p> <p>中 自 ら 工 事 業 者 (工 事 株)</p> <p>を 監 督 し 、 右 記 電 気 工 作 物 の 据</p> <p>付 立 ち 会 い 及 び 社 内 検 査 に 従 事</p> <p>し た 。</p> <p>(2) 電 気 事 故</p> <p>(年 月 日 × × 事 故 発 生)</p> <p>上 記 事 故 が 発 生 し た 時 、 私 は 課</p> <p>長 (兼 電 気 主 任 技 術 者) に 報 告</p> <p>す る と と も に 、 中 部 近 畿 産 業 保</p> <p>安 監 督 部 電 力 安 全 課 に 電 気 事 故</p> <p>速 報 と し て 事 故 の 概 要 を 報 告 し</p> <p>た 。 ま た 私 は 電 気 事 故 の 詳 報 報</p> <p>告 時 に 下 記 の 対 策 を 取 り ま と め</p> <p>再 発 防 止 に 努 め た 。</p> <p>(事 故 の 概 要 及 び 原 因)</p> <p>(再 発 防 止 対 策)</p>	

上記の実務経歴を有することを証明する。

平成 年 月 日

所在地

証明人 株式会社

代表取締役社長

印

(注) 組織図を添付すること。

日常巡視点検業務

電気工作物	点 検 項 目
受電用変圧器	油温・異常音・異臭

月例点検業務

電気工作物	点 検 項 目
受電用変圧器	油温・油量・油漏れ・異常音・異臭・窒素封入圧力

年次点検業務

電気工作物	点 検 項 目
受電用変圧器	停止して外部の損傷・腐食・変色・変形・発錆・ゆるみ・亀裂・汚損.....

測定・試験業務

測定・試験項目	電 気 工 作 物
絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 継電器試験	受電用変圧器、 受電用変圧器、 継電器 台 継電器 台 試験項目 1 . 動作試験 2 . シーケンス試験
絶縁油試験	受電用変圧器、 試験項目 1 . 耐圧試験 2 . 酸化度試験 3 . ガス分析

注意：別紙 1 ~ 4 は別の用紙で作成すること。